

参加
無料
FREE



藻谷 浩介 MOTANI KOUSUKE

Data Science Forum

データサイエンス フォーラム 11/8(水) 13:30-16:00

藻谷浩介氏をお招きし、
「データサイエンスフォーラム」を開催します！

社会経済が複雑化・多様化する中、データの分析から価値を創造・発見するデータサイエンスが注目されています。データの利活用を実践する講師及び県内ユーザーの方の事例などから、データの力で地域の課題を解決するヒントを学びます。

場所

ウェディングプラザ アラスカ
ダイヤモンドの間 青森市新町1丁目11-22

対象

地域やビジネスの現場、行政運営に
データを活用したい方

定員

定員60名 **参加無料**

GUEST
県内ユーザー



弘前大学
人文社会科学部 教授
李 永俊

材株式会社
代表取締役
浄法寺 朝生



申込方法

右記のURLまたは二次元コードを読み込み、申し込みフォームよりお申込みください。

申込期限: 10/29 (日) まで

県庁HP

データサイエンスフォーラム

検索

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kikaku/tokei/datascience_forum2023.html



PROGRAM プログラム

1. 講演

EBPM(Evidence-Based Policy Making)に基づく地域振興

株式会社日本総合研究所 主席研究員 **藻谷 浩介 氏**

PROFILE :

平成合併前の全3,200市町村、海外119か国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、人口成熟問題、観光振興、コロナ対応などに関し研究・著作・講演を行う。2012年より現職。著書に「デフレの正体」、「里山資本主義」、「世界まちかど地政学Next」など、近著に「日本の進む道～成長とは何だったのか」がある。



2. トークセッション

テーマ「青森県におけるデータサイエンスの役割」

登壇者

講師 **藻谷 浩介 氏**

県内ユーザー

弘前大学人文社会科学部 教授

李 永俊 氏

PROFILE :

人口移動、地域雇用、労働経済等をキーワードに研究を行うほか、人口問題や経済、その他の県の政策課題についてエビデンスに基づいた分析や議論を行う地域未来創生政策科学研究会を主催する。著書に「人口80万人時代の青森県を生きる一経済学者からのメッセージ」(共著)や「東京に出る若者たち―仕事・社会関係・地域間格差」(共著)がある。



材株式会社 代表取締役

浄法寺 朝生 氏

PROFILE :

2004年青森にUターンしたのち、地域課題解決型の事業を多数実施するほか、人材育成、起業支援など県内企業のサポートも行いながら、自らも2社の代表取締役を務める。材(ざい)株式会社では、マーケティング調査、ビッグデータ・オープンデータ分析、WEB企画・制作などの手法により地域課題や顧客課題の改善に取り組む。



注意事項

- ・ご応募いただいた個人情報は、イベント運営・管理に必要な事項の目的以外には利用しません。
- ・駐車場は用意しておりませんので、公共交通機関でお越しください。
- ・申込みは先着順に受け付けます。定員に達し次第、期限前に受付を締め切ることがありますので、あらかじめ御了承ください。
- ・内容は予告なく変更になる場合があります。

主催・お問い合わせ先：青森県企画政策部 統計分析課 統計情報分析グループ

〒030-8570 青森市長島1丁目1番1号 TEL.017-734-9166 tokei@pref.aomori.lg.jp

[県庁HP] https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kikaku/tokei/datascience_forum2023.html

詳しくは県庁HP

データサイエンスフォーラム

検索

